

米沢市SDGs「わたしのなせばなる」を紹介します

企業・団体名 サクサテクノ株式会社

代表者氏名 代表取締役社長 矢萩 優

関係するSDGsの目標（ゴール）に○を書いてください。（複数選択可）

①貧困	②飢餓	③保健	④教育	⑤ジェンダー	⑥水・衛生
⑦エネルギー	⑧経済成長・雇用	⑨インフラ・産業化・イノベーション	⑩不平等	⑪持続可能な都市	⑫持続可能な生産と消費
⑬気候変動	⑭海洋資源	⑮陸上資源	⑯平和	⑰実施手段	

取組のタイトル

高齢者、聴覚障がい者も、安全に活躍できる環境の実現

取組の説明 ※SDGsの各ゴールの達成にどのように貢献するかなどを記載してください。
※欄が不足する場合や写真・画像がある場合は任意様式（A4タテ）で提出してください。

サクサテクノ(株)では、聴力が弱い高齢者や聴覚障がい者が、安全に生活および仕事ができる環境を目指し、火災現場に遭遇した時に逃げ遅れる事がないように、光警報装置を開発、販売しています。
具体的な内容としては以下のとおりです。

高齢者、聴覚障がい者対応 火災警報装置
＜消防庁 光警報装置の設置に係るガイドライン性能・機能適合品＞

光警報システム

ISO7240-23 に準拠

『光の点滅』で火災を警報！

従来のベルや非常放送だけでなく、光により火災警報を発するシステムです。

- 光警報装置設置型 (FP-S10)：天井・壁・床・天井 30～11号
- 光警報装置天井取付型 (FB210JC)：天井取付 29～11号
- 光警報装置壁取付型 (FB210JW)：壁取付 29～2号



（埋込タイプ）

日本消防検定協会 型式評価合格製品

光警報とは？

『光の点滅』で火災を警報します。

Q1. 効果はあるの？

『聴覚障がい者、高齢者への伝達が可能です。』

＜聴覚障がい者による認知度比較＞

※本効果検証はモデル施設として参加された全国7か所の医療機関、空港、福祉施設等にて、聴覚障がい者の方71名の被験者に対し比較実験を行い、無難に気づいたかどうかを5段階評価で回答いただいた結果です。

警報の種類	認知できる	全く認知できない	認知しづらい	どちらともいえない	認知可能	はっきりと認知
音のみの警報	9%	83%	4%	4%	3%	6%
音と光の警報	89%	2%	4%	5%	20%	69%

引用：一般社団法人 火災報知機工業会発行「光警報装置のおすすめ」

Q2. どのようなところに必要なの？

『聴覚障がい者、高齢者を含む不特定多数の人々が利用する施設に必要です。』

駅・空港、ホテル、劇場・映画館、商業施設、展示場、地下街、病院・医療機関、官公庁庁舎、障害者施設、老人ホーム などへの設置が求められています。

また、これらの場所以外でも 聴覚障がい者の近例に火災の発生を知らせることができない者がいることが想定される場所や、従業員等による避難誘導等が期待できない場所 等への設置をおすすめします。

火災発生時、騒音などの音により警報音が認知しづらい工場や施設への設置も効果的です。



※聴覚障がい者数について・・・H20年度末の障害者手帳（聴覚・平衡機能障害）の交付数は45万人ですが、実態として、聴力が衰えた高齢者や中等度聴以上の聴力レベル（40デシベル以上）を含めると、約600万人が対象。高齢化社会に伴い、今後も増加傾向にあると推定されます。